



立真会

質問者
さかもと きみあき
坂本公明議員

所属議員
はらだ
原田てつよ議員



令和2年度予算及び 市政運営を問う

議員 予算編成の基本的な考え方と重点施策は何か。

市長 予算編成の基本は入るを量りて出ずるを制するである。引き続き企業誘致を進め、雇用を生み、定住を促すことで税収増に繋げて福祉・子育て・教育へ再投資をする。市の最大の宝は子ども達であり、子育て、教育分野に重点を置いた。

議員 行政のトップとして自身をどう評価されるのか。

市長 笠岡市長としての評価は、4月の選挙結果と考えている。4年間の評価は、有権者の皆様が次の市政を託すのに最善と思う人物に対する投票行動であると考えている。

議員 次代を担う職員の育成は。

市長 社会の急速な変化に伴い地方自治体を取り巻く環境は厳しさを増している。自治体間競争に勝つために、能力と意欲を持った職員の育成に努める。

障がい者相談支援体制を問う

議員 これまで3つの相談事業所が対応していたが、4月から2事業所となる。中身はどうなるのか。

市長 3市2町での運営から本市と里庄町の1市1町となるため効率的な業務を考え2事業所とした。

議員 今後の方向性は。

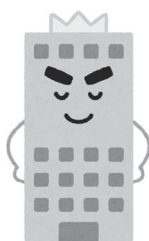
市長 相談支援センターの場所の変更の周知を含め、利用される障がい者の方や、その後家族の方々がサービスの低下や不安を感じないよう努めていく。



日本共産党

質問者
ひのつ みちこ
樋之津倫子議員

所属議員
いぎ まもる
井木 守議員



市長の政治姿勢を振り返る

議員 ①企業誘致に対する多額の奨励金や固定資産税などの優遇措置額を差し引いて税増収に向かうのはいつか。雇用された市民の数など検証することが必要だ。市民一人雇用すれば30万円の助成をするが実績はどうか。②税滞納世帯への憲法第25条の精神を生かした対応が必要と思うが現状はどうか。③水道料金の引き下げと高校卒業までの通院を含めた医療費無料化の公約を、あらゆる角度から検討し、実施に踏み切るべきと思うがどうか。④まちづくり協議会の、真の自治能力をつけるため今後の対策について問う。

市長 ①誘致した企業に対する奨励金の額を上回る税増収になるのは10年から15年後である。奨励金は今後10年間で41件、総額約22億

3000万円を見込む。雇用は、正規・非正規を合わせ、約180人。②完納できるよう相手に寄り添う。困難な場合、岡山市市町村税整理組合等に委託。法律に基づき、寄り添いながら滞納整理をする。③引き下げ案は、平成29年6月議会で否決されたが、市民の願いであり、定住促進につながると認識。令和2年度、上下水道事業運営審議会に諮問し、再提案を準備する。高卒までの通院を含めた医療費無償化はまず国、県、市一体で支援に取り組む必要がある。他の子育て支援施策とも調整を図り、適切な時期を待ちたい。④地域課題に根差した主体的な地域づくりが、地域自治を推進し、一定の成果を出している。試行錯誤を繰り返しながら持続可能な地域づくりを目標に継続的に取り組んでいく。

